

2023年度決算 2024年度業績予想・配当予想



2024年5月15日
日本軽金属ホールディングス株式会社

目次

1. 2023年度 決算

2. 2024年度 業績予想・配当予想

2023年度決算 – 前期比

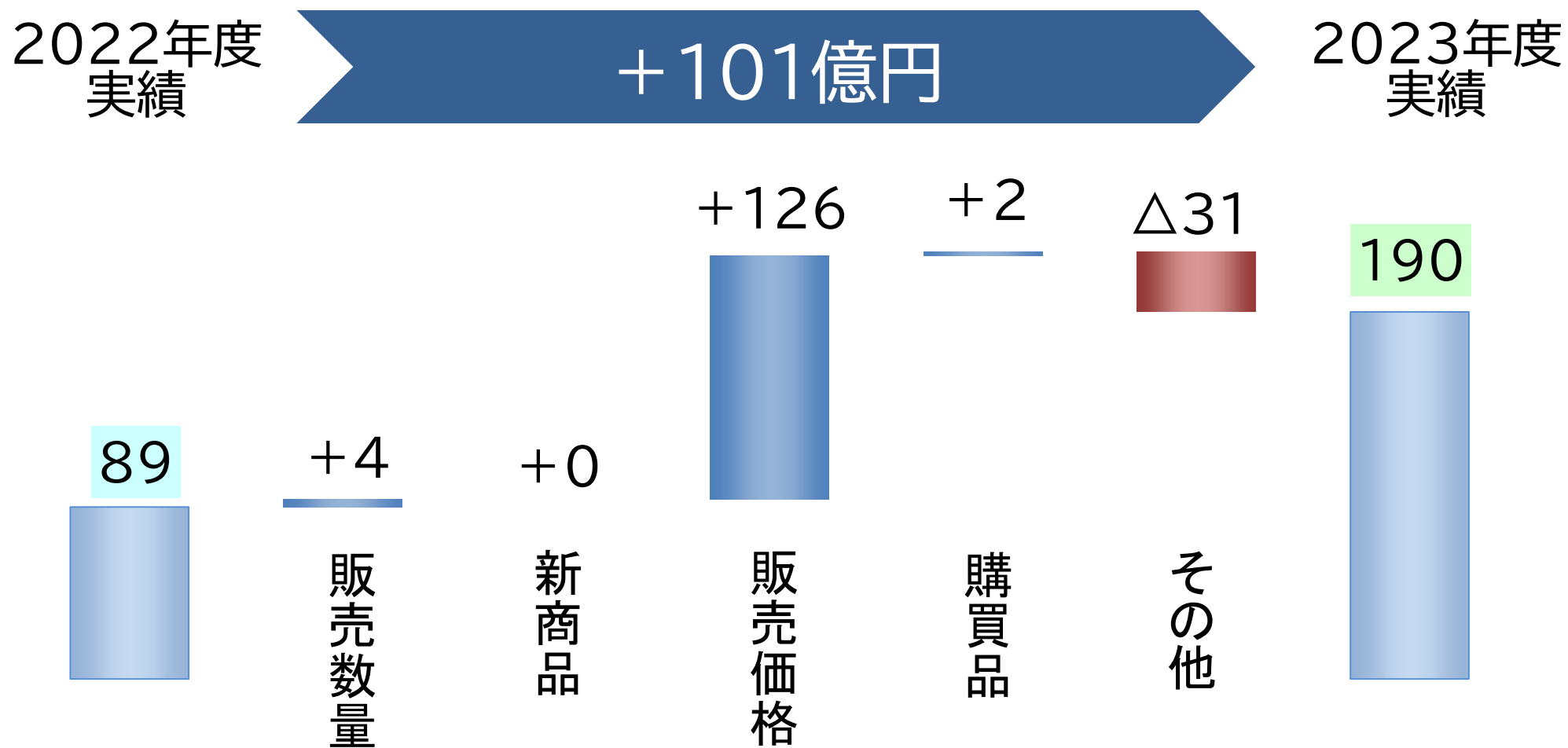
増収・増益 半導体関連需要の低迷継続、中国自動車関連向けの減速影響受けるも
パネルシステム好調、トラック架装業績改善により増益

(億円)

	2022年度 実績	2023年度 実績	増減
売上高	5,170	5,237	+67 (+1.3%)
営業利益	75	182	+107 (+141.3%)
経常利益	89	190	+101 (+114.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	72	90	+18 (+25.5%)
ROCE	3.2%	6.0%	+2.8%
1株当たり配当金	50円	50円	±0

経常利益変化要因 – 前年同期比

増収・増益 トラック架装事業、箔、粉末製品などで販売価格改定効果が拡大



セグメント情報 – 前年同期比

加工製品、関連事業：クリーンルーム向けパネルシステム好調、トラック架装事業は収益改善
箔、粉末製品：海外向け 前期上回る販売、医療包材向け・日用品 販価改定効果等で増益

(億円)

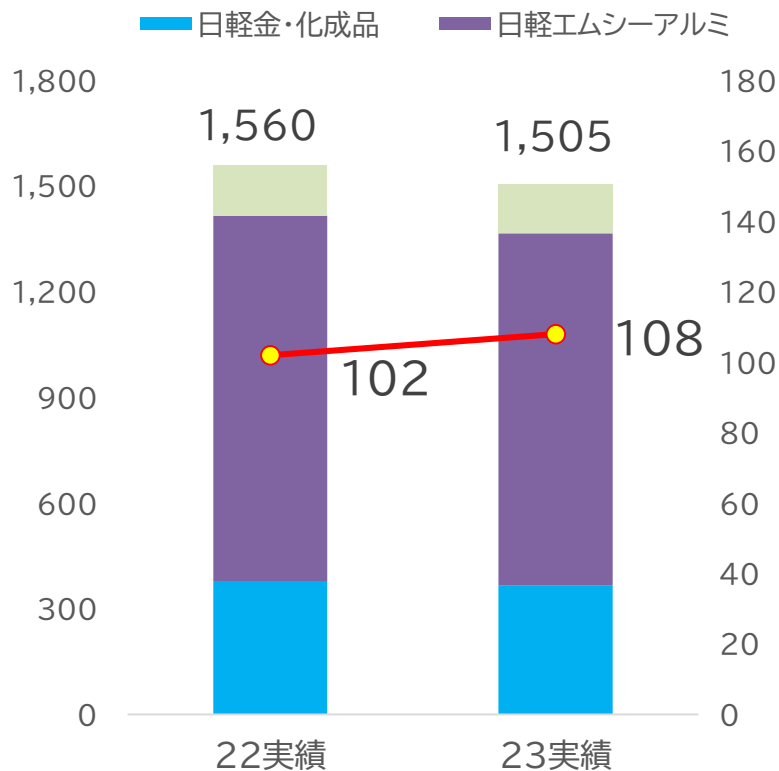
	売上高			営業利益		
	2022年度 実績	2023年度 実績	増減	2022年度 実績	2023年度 実績	増減
アルミナ・化成品、 地金	1,560	1,505	△55 (△3.5%)	102	108	+6 (+5.5%)
板、押出製品	1,074	975	△99 (△9.2%)	△6	△6	±0 (－)
加工製品、 関連事業	1,532	1,704	+172 (+11.3%)	1	66	+65 (－)
箔、粉末製品	1,004	1,053	+49 (+4.9%)	15	56	+41 (+271.1%)
管理・共通	－	－	－	△37	△42	△5
合計	5,170	5,237	+67 (+1.3%)	75	182	+107 (+141.3%)

アルミナ・化成品、地金

アルミナ・化成品は販売減影響上回る販価改定効果で、二次合金は国内自動車生産回復による販売増と米国・タイ好調継続で、前期利益上回る

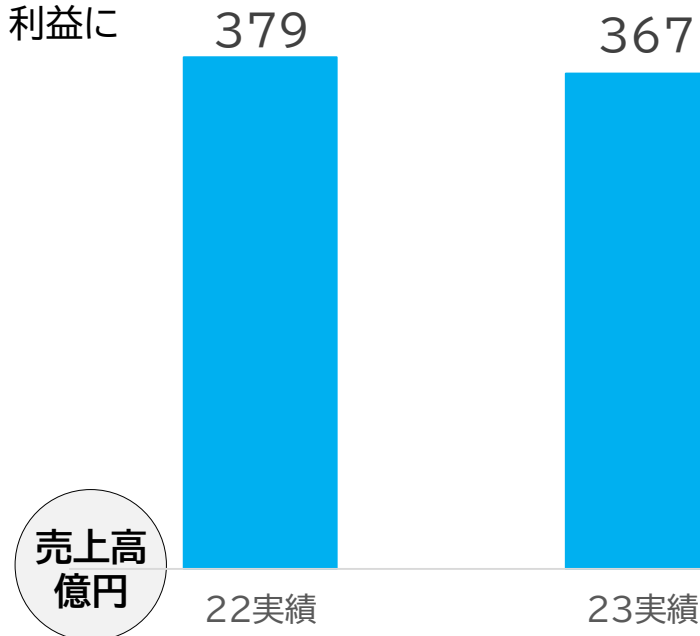
売上高(億円)

営業利益(億円)



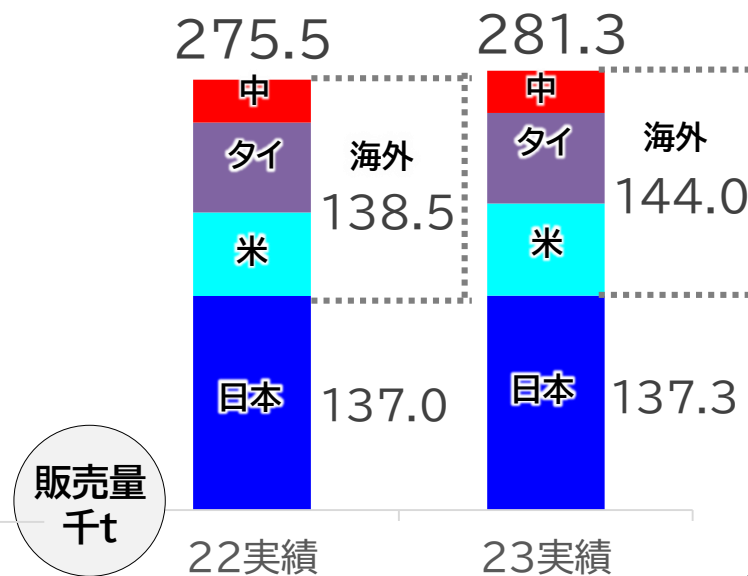
アルミナ・化成品(日軽金・化成品)

- 耐火物・セラミックス向けの販売減少により、前期を下回る売上高に
- 販売減影響より販売価格改定効果が大きく原燃料価格高騰の軟化もあり、前期上回る利益に



二次合金(日軽エムシーアルミ)

- 日本 自動車生産回復で販売量増加
- 海外 米国・タイ 販売好調 継続
- アルミ地金市況反映の販価下落の影響で減収も、前期利益上回る



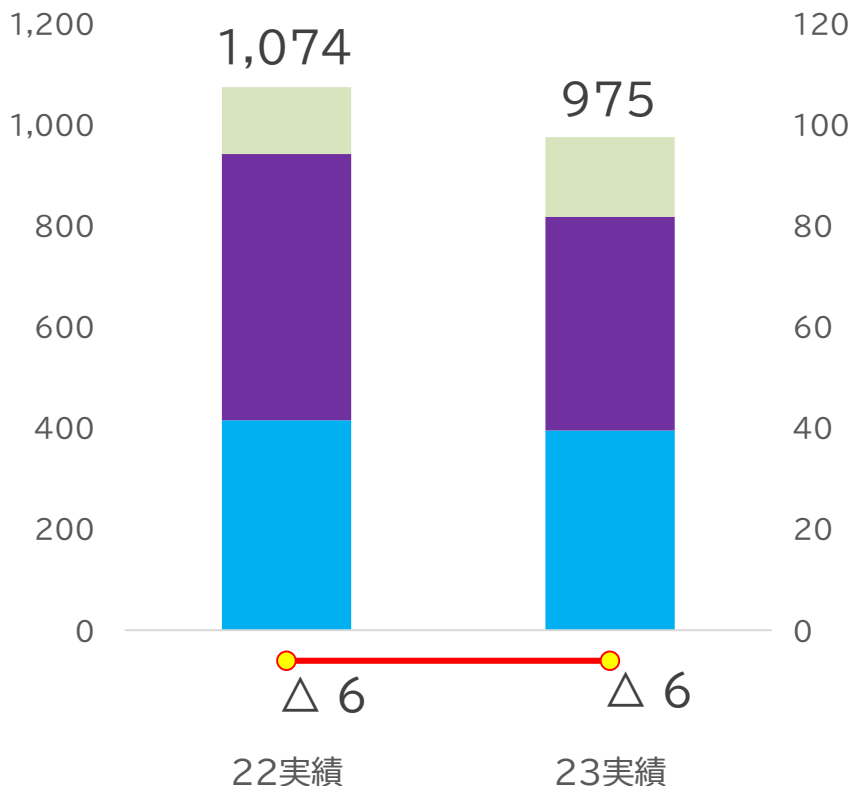
2023年度 決算 板、押出製品

トラック架装向け・国内自動車関連向けで販売回復が進むも、半導体製造装置向けの販売低迷継続に加え中国での自動車関連向け減速で前期並み利益

売上高(億円)

営業利益(億円)

■ 日軽金・板 ■ 日軽金アクト ● 営業利益



日軽金・板

- 半導体製造装置向け厚板は販売低迷継続
- 販売減少による利益減少があったものの、販売価格改定効果により、前期を上回る利益に

売上高
億円

415

22実績

395

23実績

押出(日軽金アクト・日軽金ALMO)

- トラック架装・国内自動車関連販売回復も、半導体製造装置向け減販・中国自動車関連販売減速
- 販売減影響に加え、米国新工場の量産操業安定に時間を要していることもあり減益

売上高
億円

527

22実績

423

23実績

* 日軽金アクトのみ

Copyright Nippon Light Metal Holdings Co., Ltd All rights Reserved.

2023年度 決算

加工製品、関連事業

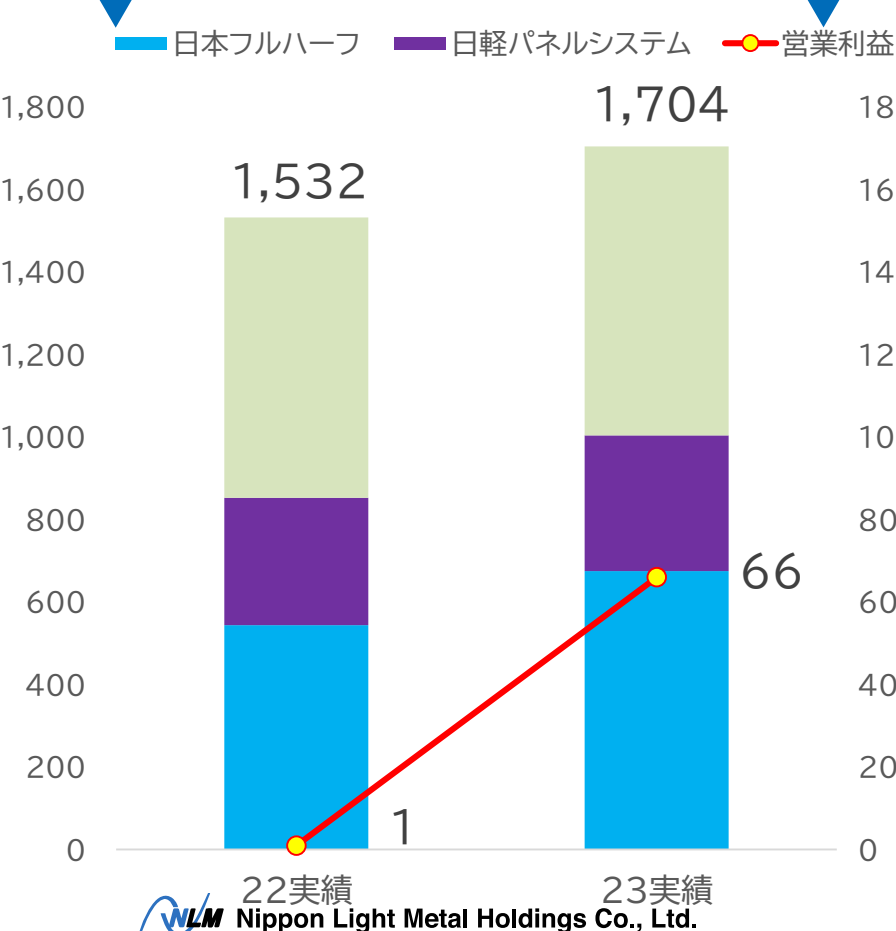
トラック架装はシャシー供給正常化による販売回復と販売価格改定効果で収益大きく改善、
パネルシステムは半導体関連メーカー向けクリーンルーム分野の好調継続

売上高(億円)

営業利益(億円)

日本フルハーフ

日軽パネルシステム



- トラックシャシー供給正常化による生産増で販売回復、前期上回る売上高に
- 販売回復に加え、販売価格改定効果等で前期と比べ大幅に収益

- 冷凍・冷蔵分野は低温流通倉庫向け、店舗向け小型物件等堅調に推移
- クリーンルーム分野は半導体関連メーカー向けの需要が旺盛で大型物件など増販

売上高
億円

22実績

23実績

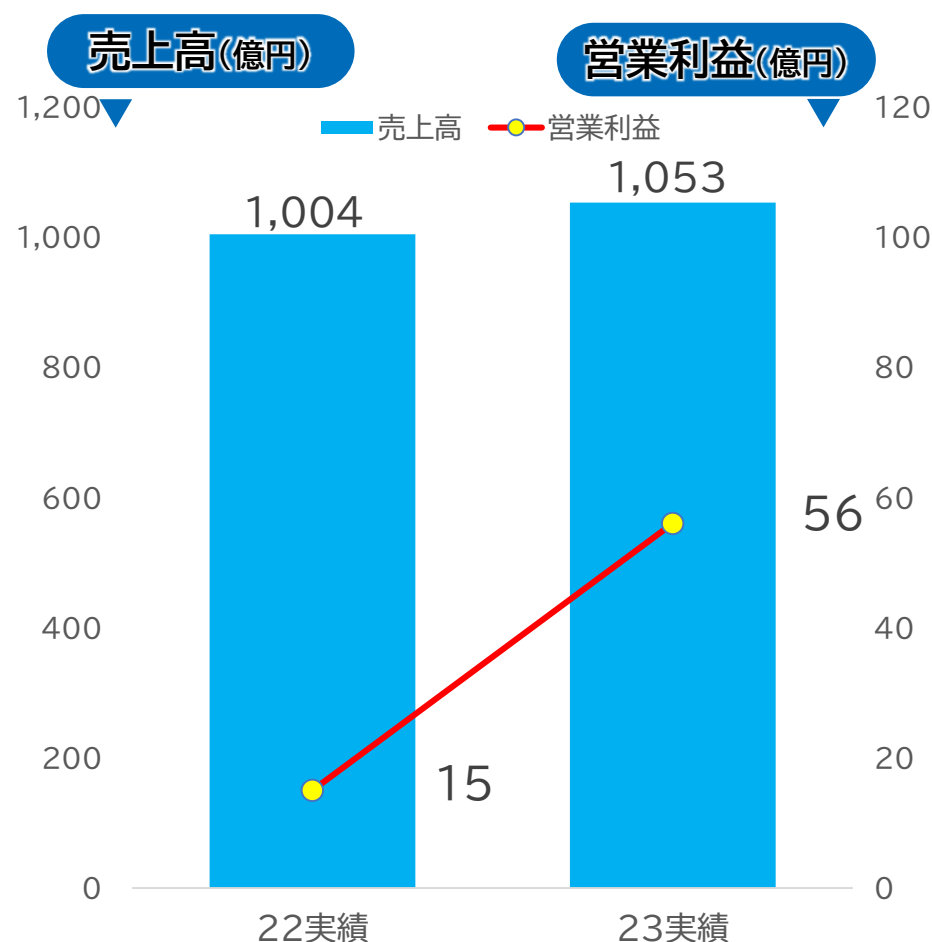
売上高
億円

22実績

23実績

2023年度 決算 箔、粉末製品

日用品部門、自動車生産回復による塗料向けペースト、海外向けでの販売増に加え
販売改定効果等により前期を上回る利益に



箔部門

- リチウムイオン電池外装用箔は前期並の販売を確保
- 医薬包材向け加工箔は販売価格改定による増収効果と海外市場向け堅調で前期上回る売上高に

パウダー・ペースト部門

- 電子材アルミパウダー・窒化アルミは半導体関連需要の下期から回復傾向
- 自動車塗料向けペーストは自動車生産回復で海外向けを中心に販売増

日用品部門

- コンシューマー向けのハウスクエア用品の販売増とアルミホイル販売価格改定効果、パッケージ用品の冷凍食品向け需要好調による販売増と販売改定効果で、前期売上高上回る

目次

1. 2023年度 決算

2. 2024年度 業績予想・配当予想

2024年度 連結業績予想

通期業績予想・配当予想

パネルシステム 順調、トラック架装関連 回復基調継続、半導体関連 回復基調へ向かう
自動車関連 国内堅調、中国 日系メーカー減産基調継続

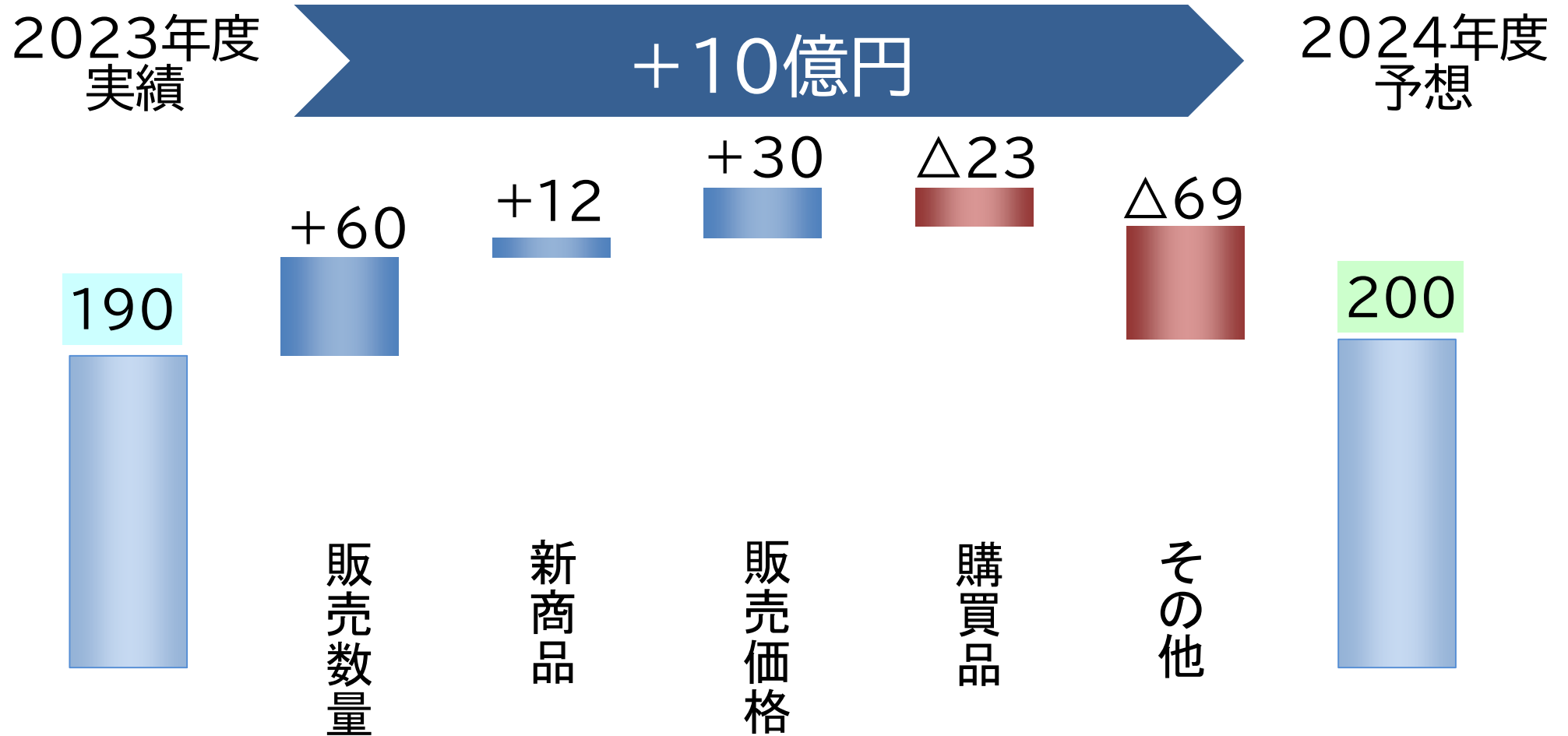
(億円)

	2023年度 実績	2024年度 予想(5/15)	増減
売上高	5,237	5,600	+363 (+6.9%)
営業利益	182	210	+28 (+15.5%)
経常利益	190	200	+10 (+5.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	90	130	+40 (+43.9%)
1株当たり配当金	50円	70円	+20円

2024年度 連結業績予想

経常利益変化要因 – 前年同期比

半導体関連低迷からの回復、トラック・自動車の回復基調継続による販売増に加え、原燃料・コスト上昇影響に対応する販売価格改定効果を見込む



2024年度 連結業績予想

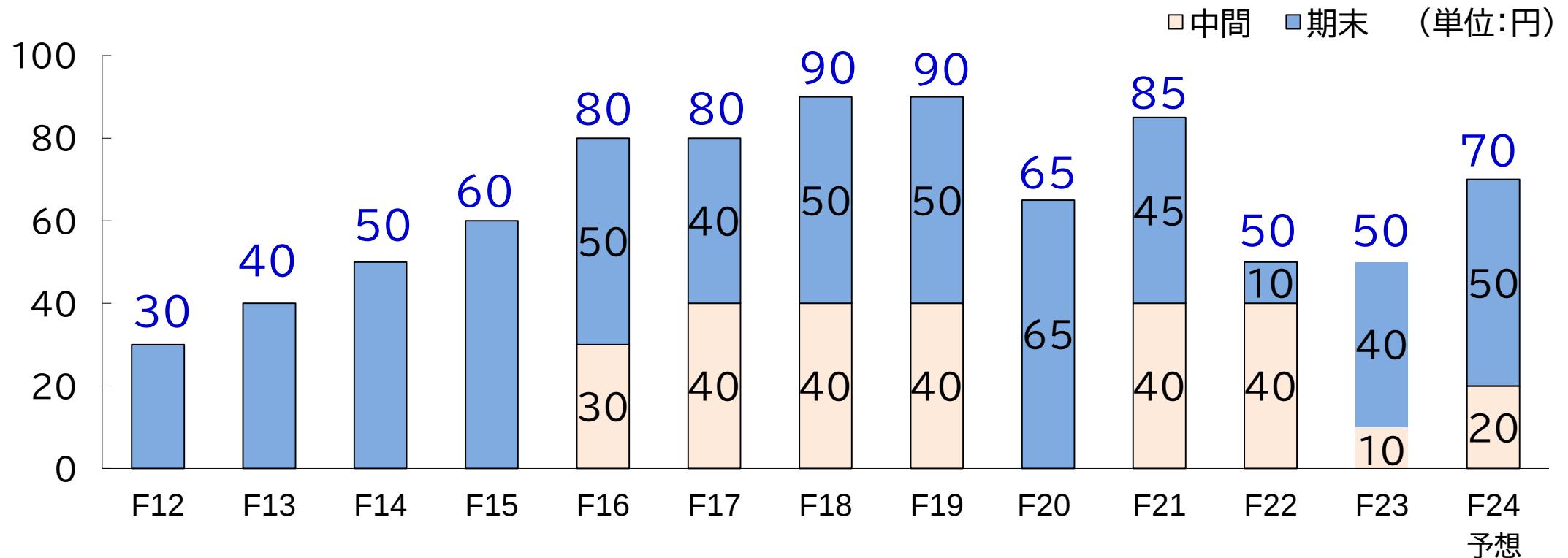
セグメント予想 – 前期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2023年度 実績	2024年度 予想	増減	2023年度 実績	2024年度 予想	増減
アルミ・化成品、 地金	1,505	1,600	+95 (+6.3%)	108	110	+2 (+2.2%)
板、押出製品	975	1,170	+195 (+20.0%)	△6	10	+16 (—)
加工製品、 関連事業	1,704	1,750	+46 (+2.7%)	66	80	+14 (+21.9%)
箔、粉末製品	1,053	1,080	+27 (+2.6%)	56	50	△6 (△11.3%)
管理・共通	—	—	—	△42	△40	+2
合計	5,237	5,600	+363 (+6.9%)	182	210	+28 (+15.5%)

2024年度 連結業績予想 1株当たり配当金

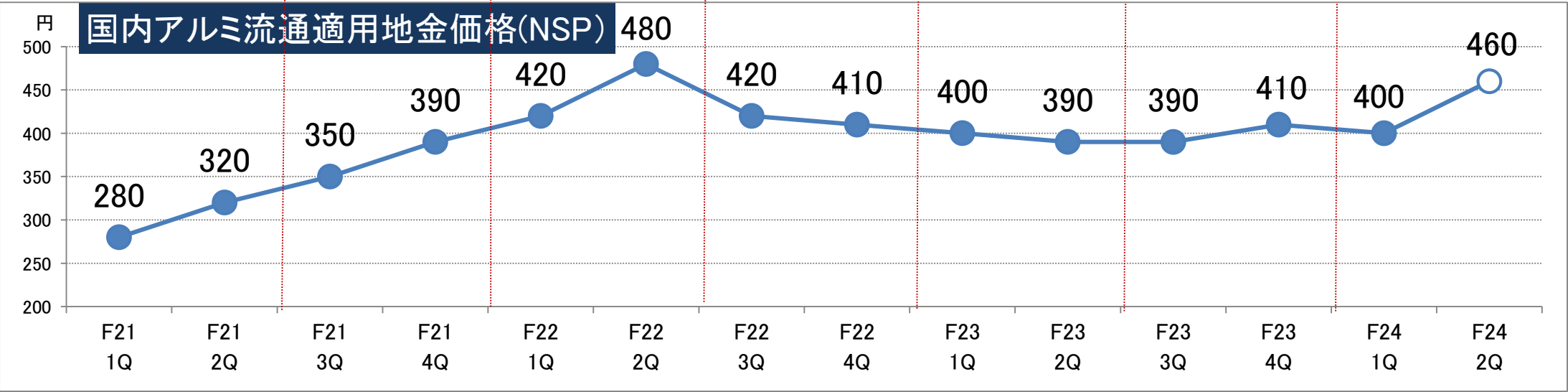
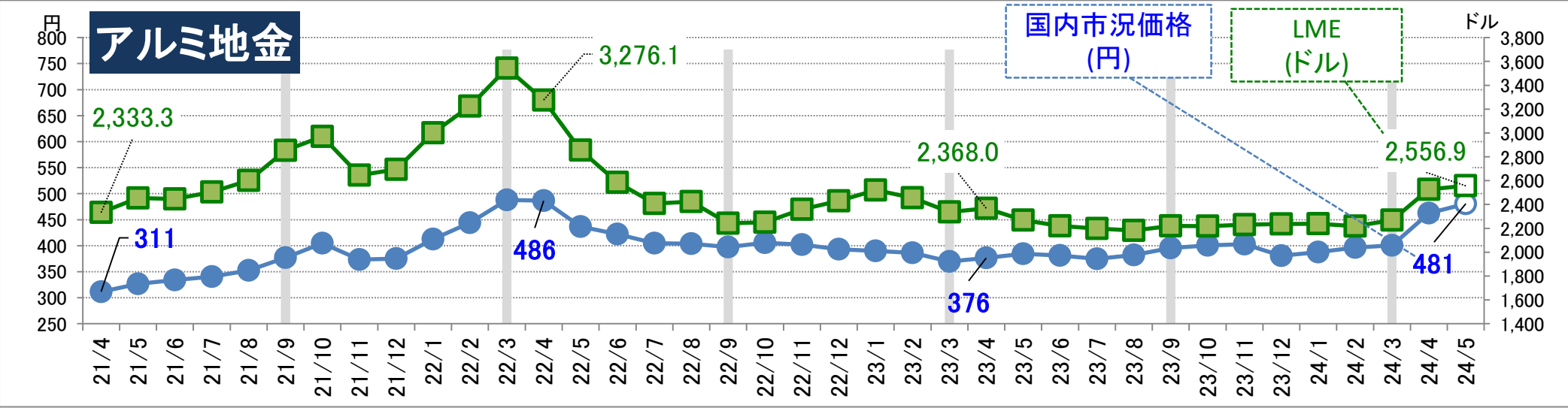
自己株式の取得を含む総還元性向を30%以上とし、配当額等を決定（23中計）
2024年度年間配当予想 70円、前期比20円増配



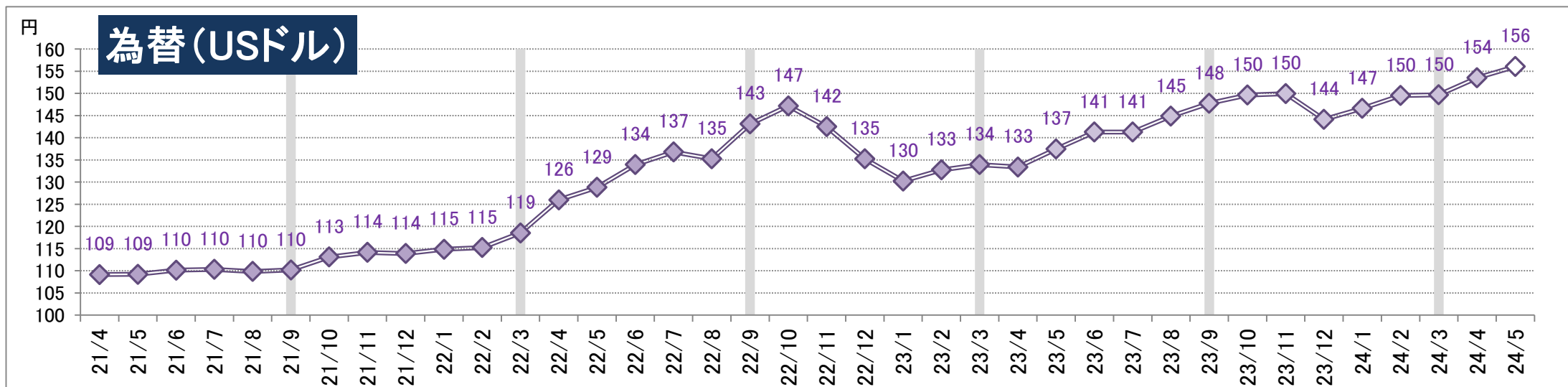
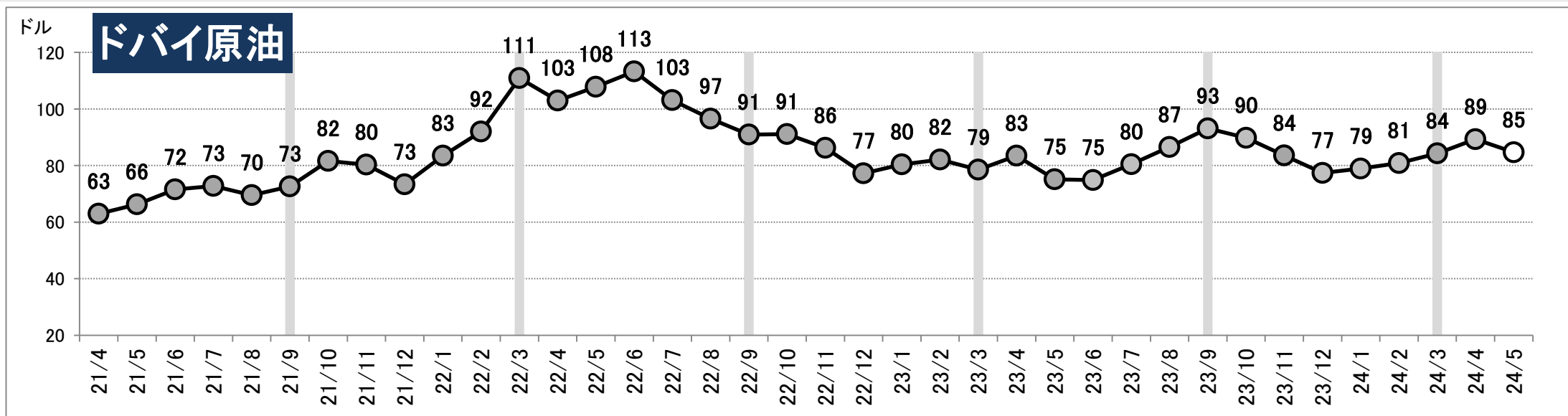
当社は2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しておりますので、2019年度(2020年3月期)以前の1株当たり配当額については、当該株式併合の影響を考慮した金額としております。

補足資料

アルミ地金価格推移



原油価格・為替推移



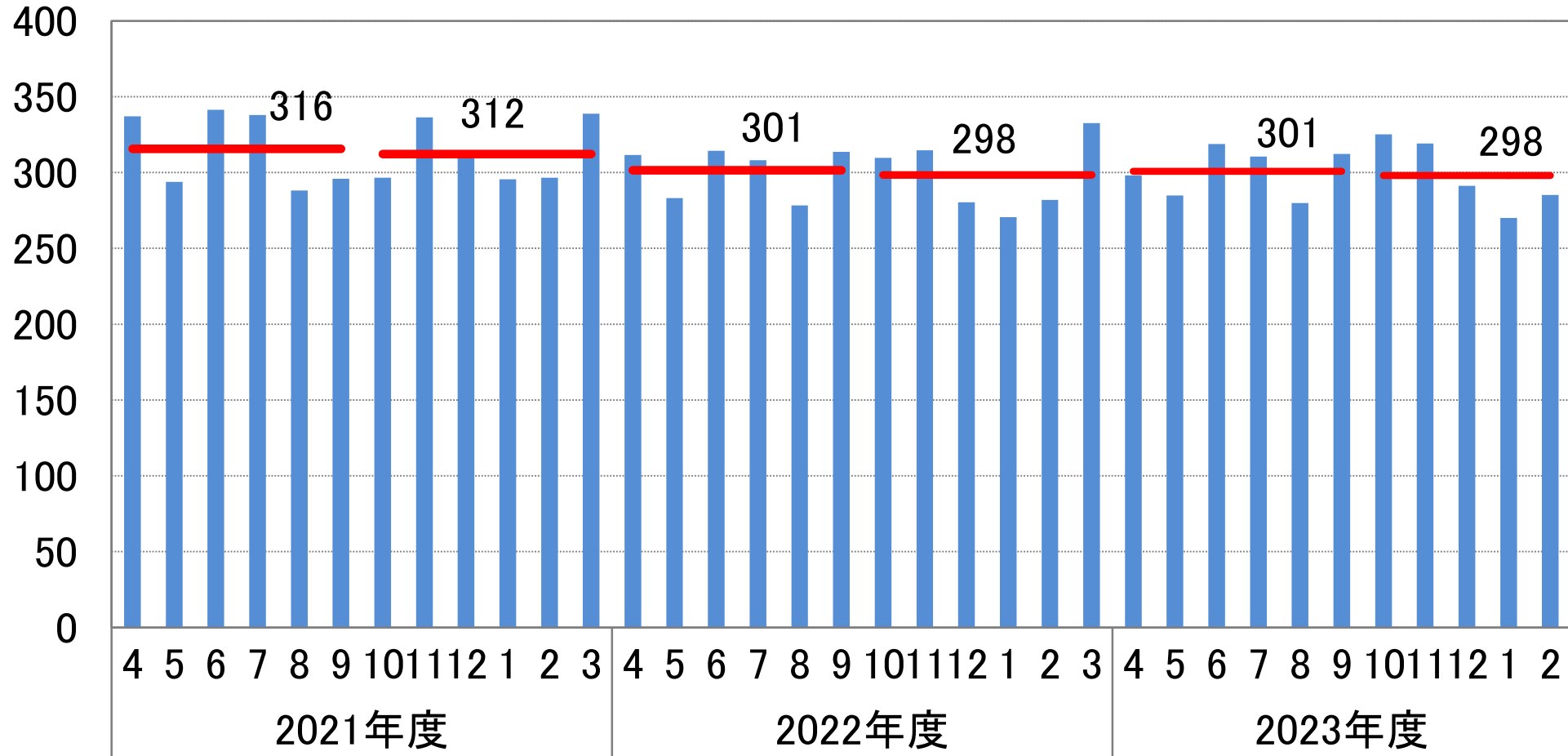
諸元と感応度

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想	経常利益への 感応度
アルミ地金 (円/kg)	378	408	389	380	10円/kg上昇した場合 △5億円/年
為替 (円/米ドル)	112	135	145	140	10円円高となった場合 △5億円/年
ドバイ原油 (米ドル/BBL)	78	93	82	95	10ドル/BBL上昇した場合 △8億円/年

国内アルミ製品総需要の推移

(千トン)

<出所:日本アルミニウム協会>



補足資料

製品販売量

	2022年度 実績	2023年度 実績	(千t) 増減
日軽エムシーアルミ(二次合金)	275.5	281.3	+5.8 (+2.1%)
国内	137.0	137.3	+0.3 (+0.2%)
海外	138.5	144.0	+5.5 (+4.0%)
日軽金・板(板製品)	61.1	60.1	△1.0 (△1.6%)
日軽金アクト(押出製品)*	33.9	32.6	— (—)

* 日軽金アクトの自動車関連は2023年度3Qより日軽金ALMOへ移管のため、2023年度3Qより除外

主要会社の業績

(億円)

	2022年度 実績			2023年度 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属(単体) *	1,553	29	72	1,415	32	67
東洋アルミニウム(連結)	1,008	9	25	1,056	55	61
日軽エムシーアルミ(連結)	1,038	23	28	999	24	30
日本フルハーフ(連結)	544	△54	△54	675	△10	△11
日軽金アクト(連結) *	527	△13	△9	423	0	1
日軽パネルシステム(連結)	309	41	41	329	47	48
日軽金ALMO(下期のみ *)	—	—	—	161	△7	△8

* 日本軽金属の素形材事業と熱交事業、日軽金アクトの自動車関連は、2023年度3Qより日軽金ALMOへ移管

販売価格改定実施状況

日本フルハーフ(2024年5月～)、日軽金・化成品(2024年6月～)で実施

セグメント		価格改定対象	改定内容	開始時期	
板、押出製品	日軽金・板	全てのアルミニウム板製品	原燃料 サーチャージ	2023年 1月	押出製品も 一部で実施
加工製品、 関連事業	日本フルハーフ	バンボデー、トレーラ 等を含む全商品	現行価格の10～15% 値上げ	2023年 3月	
箔、粉末製品	東洋アルミニウム	樹脂・紙原料の家庭 用商品	20%以上	2023年 7月	
板、押出製品	日軽金・板	全てのアルミニウム板製品	加工賃(ロールマージン 価格)20%程度値上げ	2024年 2月	押出製品も 同程度実施
加工製品、 関連事業	日本フルハーフ	バンボデー、トレーラ 等全製品、部品全般	20%値上げ(製品)、15 ～30%値上げ(部品)	2024年 5月(部品:8月)	
アルミナ・化成品、 地金	日軽金・化成品	水酸化アルミニウム、 アルミナ	現行価格の10%以上 値上げ	2024年 6月	

本資料についての注意事項

1. 本資料は2024年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。